

保護者説明・報告会（久世地域の園整備について）
会議録（令和5年3月2日 久世公民館大ホール）
【出席者 保護者：19名 傍聴者：13名 事務局：2名】

1 開 会

2 私立の新設認定こども園の設置場所について（報告）

事務局より報告

3 久世地域の園整備について（案）

事務局より説明

4 意見交換（テーマ：久世地域の園整備について）

保護者）

資料が市の都合の良いように作られていると感じる。

以前から、できるだけ早く対応すると言われ続けて今に至っている。今後もどうなるか分かったものではない。

今の久世保育園を新しくしてほしいという思いで保護者はアンケートに答えていたが、それをうまく利用され、新しい私立の園を建てる話にされた。私立の園ができることは、個人的には賛成している。人口が増えている中で、新しい園が増えることは必要だから。

北町公園に2つの園が存在すると、敷地問題や保護者の送迎など混乱することは想像がつく。久世保育園をなくして、新しい私立園のみ残ると言うことは、久世保育園の人は全員そちらに行けと言っているようなもの。

今回の説明会までに、小さな説明会を何回もすべきであったと思う。それをしなかったから、今回のような結果になったと思う。

知り合いの保育士は、今回のような勝手に決められることに対して不信感を持ち、退職を考えるようになったと聞いている。

財政的に公立園を建てるのが難しいのならはっきり言えば良い。保護者に頭を下げてお願いすれば良い。

提案として、R6年度に全て受入れを停止するのではなく、0～2歳児については、久世保育園で受け入れてあげるようにしたらどうか。でも、この案が通っても個人的には不満だし、うるさく言う人の意見を聞いておけばそれで良いだろうと思われては困る。

子ども子育て会議のメンバーが大きく変わったことは良くない。メンバーに久世地域の人ほとんどいない。

前回の保護者説明会での意見が全く反映されていないと思う。

事務局)

職員の意見も大事だが、まずは保護者の意見を優先して聞きながらと思っている。最大限に全てに配慮することはできないと思っているし、個人の意見を聞いたからそれで良いとも思っていない。

強制的に私立の園に移ってほしいということではなく、私立の園が、皆さんから望まれる園になってほしいと思っている。私立の園のこれからの取り組みや説明のされ方次第だと思っている。

保護者)

私立園の取り組み方次第だというが、他の園に行く選択肢は、今の他の園の受け入れ状況からしてあり得ない。新しい私立園に行くしかない。少し考えたら誰でも分かること。

事務局)

愛着を持って今の園に通わせている保護者にとっては、そのままの状態が良いというのは理解できるが、建て替える場合に今の場所にそのままというのは難しいと考えている。

保護者)

新しい私立園を他の場所に建てれば良いのではと思う。いくら事業者から提案があったとしても、それをそのまま言うことを聞くのはおかしいと思う。これまでの経緯からしても新しい公立園が令和8年度以降というのもどうなるか信用できない。また10年先になったということになるかもしれない。

事務局)

新しい私立園の建設場所について、変える変えないの話はこの場で答えることはできない。公立園側の整備については皆さんが言われるご意見によってどういう風に考え直すことができるかということだと思っている。

今まで引き延ばしてきたという状況も含めて、ある程度目標を持って進めていきたいと思っているので、簡単に更に10年先になったとかが言えるような話ではないと思っている。

保護者)

新しい私立園の先生の駐車場はどこになるか。送迎ルートはどこになるか。いきいきサロンの遊具は新しい私立園に取り込まれるのか。小規模保育事業所も状況によっては考えているようだが、久世保育園の敷地が利用できないかと思う。どうしても公立園に行きたい人は久世第二保育園を選択すると思うが、そこもあふれた場合はどうなるのか。新しい私立園に自動的に通わされるのか。市長は保護者の中に不安を感じている人はいないと思うと答弁されているが、実際には不安に思っている人は結構いる。このような声が市長まで届いてい

ないのでと感ずる。

事務局)

駐車場はこの場所以外で確保されると聞いている。どこになるかまでは聞いていない。送迎ルートは、久世保育園が受入れ停止となる場合の案では、現在の久世保育園の送迎ルートかと思っているが、これからの協議となる。いきいきサロンの遊具がある場所は新しい私立園の敷地には入っていないので当面はそのままである。小規模保育事業所の案は検討する余地はあると思う。ご意見として受け止める。久世第二保育園にも行けなかった場合でも、自動的に新しい私立園に行くということはない。あくまでも希望されていることによる。市長への声については、必要なことや状況などは伝えている。

保護者)

公立園の希望が叶わなかった場合でも、無理矢理新しい私立園に行かせることはないと言われるが、どういう調整方法があるのか。

事務局)

第1希望以外の第2希望～第5希望に書いてある園に調整することになる。

保護者)

保護者は希望を書きたくても公立の選択肢がないことになり、待機児童が発生する。

事務局)

特定の園にこだわられる場合はそのような状況になり得るが、皆さんからの今回のような意見を踏まえて協議が必要だし、事業者の説明も必要と考えている。

保護者)

公立と私立の保護者の負担とか体制の差はあるのか。

事務局)

認定こども園なので、愛慈園と同じように入園調整も市が行うし、保育料も同じ体系の中での算定となるので違いはない。私立園で独自に用意されるものについては情報を掴んでいない。

保護者)

従来の子ども園と新規の認定こども園は何か違いがあるのか。

事務局)

基本的には制度に基づいた認定こども園となるので、大きな違いはない。

保護者)

新しい私立園の運営はその事業者に委託ということになるのか。敷地は無償提供か。建物も市が全て建設費用を出したものを事業者が運営することになるのか。

R8 年度に公立園ができる場合でももっと前から話が必要であったと思う。

事務局)

民設民営で、委託ではない。土地は貸し出すが有償。建物も市が介入してということはない。建物に関しては、決まった基準に基づいたものである必要がある。

保護者)

案とあるが、実際にはこの案で決定されることになるのか。

事務局)

基本的にはこの案で決定させてもらいたいと思っていたが、昨日と今日皆さんのご意見を聞いて、このままの案で強行していいのかということは検討が必要と思っている。

保護者)

今回のことで考え直されるとしても、R6 年 4 月開園はスケジュール的に厳しいと考えるが、今後どのように進めていくつもりか。

事務局)

今回の久世地域の公立園の件は早急に検討すべきと考えている。新しい私立園のことは、それとは別であって、R6 年 4 月開園に向けて進んでいくことに変わらない。

保護者)

案として、同意書を用意して「これで行きます。同意してください。」とすれば良い。多数決という方法もある。

不安を抱えたまま R6 年度に突入する。これはずさんな話だと思う。

事務局)

一つのご意見だと思う。

保護者)

これまでの話を聞いてきて、新しい私立園については R6 年 4 月開園は決定だが、久世保育園の R6 年度受入れ停止という案は考え直しがあるのかなと思って良いのか。

事務局)

新しい私立園については、R6 年 4 月開園で進んでいく。それ以外については、昨日と今日の話聞いて、強行するのはどうかなと思っている。

保護者)

久世保育園がそのまま残るのはうれしい人もいるだろうが、実際、R6 年度に 2 つの園が存在するということは、密集により車の出入りの問題や事故が起きる可能性があるなど保護者だけでなく周辺にも影響が出ると思う。

事務局)

言われるとおりだと思う。そうした意味からは、この案のままお願いすることになるかもしれない。いずれにしても、今回、この場でこうしますという発言はできないが、ご意見として受け止め共有させてもらい、今後どうすべきかを協議していく。

保護者)

意見を聞くと言われるが、これまでその意見が反映されたことがない。次の説明会ではきれいに白紙になっている。

事務局)

真摯に受け止め、対応していく。

保護者)

私立園は 2 階建てと聞いたが、保護者としては不安に思う。自分も通った愛着のある園であり、20 年くらい前でも残してほしいという動きがあったと思う。久世保育園は以前から廃園という話がされてきたかと思うが、なぜ建て替えるという話にはならなかったのか。

事務局)

結果として、市で、そういう決断ができていなかったということになるが、昨年度からの議論により今に至っているということと思っている。

5 閉 会